令和５年度　年間学習指導計画案

科目	人体の構造と機能	単位数	３単位	学年・学科・コース	１年・衛生看護科
使用教科書	看護学入門１　人体のしくみと働き （メヂカルフレンド社）			副教材等	なし

１．学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	看護の見方・考え方を働かせ、人体の構造と機能に関する実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、看護の実践に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・人体の構造と機能について体系的・系統的に理解するようにする。 ・人体の構造と機能に関連する生活行動や健康の基本的な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ・人体の構造と機能について、よりよい看護の実践を目指して自ら学び、人々の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の観点		
ａ．知識・技能	**ｂ．思考・判断・表現**	**ｃ．主体的に学習に取り組む態度**
人々の健康について考える科学的視点の一つとして、解剖生理学と栄養学の基礎的事項を人間の生活行動と関連付けて理解することによって、生活者である人間の健康状態を観察する知識を身に付けている。	人々の生活行動に関連する基本的な健康課題を発見、人体の機能と構造の視点から捉え、看護の職業倫理を踏まえて、解決する力を身に付けている。	人々の健康の保持増進のために、人体の構造と機能の内容を活用する実践的・体験的な学習活動を通して、主体的かつ協働的に看護の実践に取り組む態度を身に付けている。

２．学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点 a	評価の観点 b	評価の観点 c	評価規準	評価方法
4 5 6	解剖生理	・人体の構成	○			・人体の構成について理解している。	定期考査 授業態度 小テスト 提出物
				○		・人体の構成と生活行動を関連付け、健康に関わる基本的課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて解決策を見いだしている。	
					○	・人体の構成について自ら学び、健康の保持増進を目指す看護への活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
7 9 10	解剖生理	・器官系の構造と機能	○			・器官系の構造と機能について理解している。	
				○		・器官系の構造と機能と生活行動を関連付け、健康に関わる基本的課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて解決策を見いだしている。	
					○	・器官系の構造と機能について自ら学び、健康の保持増進を目指す看護への活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
11	解剖生理	・生体の恒常性	○			・生体の恒常性について理解している。	定期考査 授業態度 小テスト 提出物
				○		・生体の恒常性と生活行動を関連付け、健康に関わる基本的課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて解決策を見いだしている。	
					○	・生体の恒常性について自ら学び、健康の保持増進を目指す看護への活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
12 1 2	解剖生理	・生体の防御機構	○			・生体の防御機構について理解している。	定期考査 授業態度 小テスト 提出物
				○		・生体の防御機構と生活行動を関連付け、健康に関わる基本的課題を発見し、看護の職業倫 理を踏まえて解決策を見いだしている。	
					○	・生体の防御機構について自ら学び、健康の保持増進を目指す看護への活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	